

平成30年12月12日(水)に開催した平成30年度第2回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 平成30年度 収支補正予算(案)について

ア 趣旨

事務局から、平成30年度当初予算から2百万円余の減額補正となる説明があった。

イ 主な意見

- ・来年度開設の文明観光学コースと匠領域の設置の取組状況はいかがか。
→公開講座やオープンキャンパスなどで周知を行なっている。遠方から高校生が参加してきており、手ごたえを実感している。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

(2) 2019年度 静岡文化芸術大学 予算編成基本方針について

ア 趣旨

事務局から、2019年度の予算編成基本方針について説明があった。

イ 主な意見

- ・新規事業を行うのであれば、そのための攻めの予算を用意して対応してほしい。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

(3) 給与関係規程の一部改正について

ア 趣旨

事務局から、静岡県の条例改定を受け、給与規程を改正するという説明があった。

イ 主な意見

- ・大学の教育に貢献した場合に何かそれを給与等に反映する措置を取っているのか。
→教員の活動評価制度を2年前から実施している。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

2 報告事項

(1) 「イブニングレクチャー」(後期公開講座)について

事務局より、土曜に開催している公開講座を地域だけでなく学生の参加を促すため、平日夕方に企画したという報告があった。

(2) 「巡回展『工芸継承』」について

事務局より12月6日より19日まで本学内で、商工省工芸指導所の工芸品を展示する巡回展を開催していることが報告された。

(3) 「文明観光学コース プレ講座」について

事務局より文明観光学コースのプレ講座として3回開催するということが報告された。

以上により議事を終了した。